別紙－１

■ガイドライン（案）　全体構成

１．ガイドラインの概要

１－１　ガイドラインの目的と役割
１－２　適用する道路と防護柵の種類
１－３　ガイドラインの構成

↓

２．道路の景観と防護柵に係る課題

２－１　沿道の特性と道路の景観
２－２　道路敷地内からの景観(内部景観)と
　　敷地外からの景観(外部景観)
２－３　防護柵の課題
＜参考：防護柵の概説＞

↓

３．景観的配慮の基本理念

（１）代替策も含め防護柵の必要性を十分に検討する
（２）構造的合理性に基づいた形状とする
（３）周辺景観との融和を図る
（４）近接する他の道路付属物等との景観的調和を図る
（５）人との親和性に配慮する

↓

４．景観に配慮した防護柵整備にあたっての留意事項

４－１　防護柵設置の判断と対応
（１）必要性の判断
（２）景観に優れた他施設による代替
（３）道路の新設時、改築時における景観的配慮
４－２　形状
（１）シンプルな形状(付加的な装飾の抑制)
（２）透過性への配慮
（３）存在感の低減
（４）人との親和性等に配慮したデザイン、材質
４－３　色彩
（１）防護柵の色彩の基本的な考え方
（２）防護柵が設置される構造物との色彩調和
４－４　防護柵の統一と他施設との調和
（１）防護柵の形状・色彩の統一
（２）他種の防護柵との統一
（３）道路管理者間での調整
（４）近接して設置される他の道路付属物等との調和
（５）整備時期のずれについての対応
４－５　視線誘導への配慮
４－６　コストと維持管理
（１）コストを考えた防護柵の設置
（２）維持管理を考えた防護柵の設置
（３）破損時等における防護柵の適切な修繕・更新
４－７　その他
（１）暫定供用時の景観についての検討

↓

５．景観的な配慮が特に必要な地域・道路

↓

６．景観に配慮した防護柵整備の進め方

６－１　防護柵に係るマスタープランの策定
６－２　マスタープランに基づく防護柵の選定
６－３　地域意見のとりまとめ
６－４　事後評価の実施